

事務事業マネジメントシート (21年度実績と22年度計画)

22年度予算確定後 平成 22 年 3 月 26 日 作成  
 21年度決算把握後 平成 22 年 5 月 21 日 作成

事務事業名		省エネルギー促進事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	2	緑豊かな環境と共生するまちづくり			所属部	市民部	課長名	上山 幸顕
	施策	7	地球温暖化防止対策の推進			所属課	環境衛生課	担当者名	橋本 武和
	基本事業	20	地球温暖化防止活動の推進			所属班	環境衛生班	(内線)	1143
予算科目	会計	款	項	目	事業連番	法令根拠	成果優先度評価結果	5	
	1	4	1	7	10181		コスト削減優先度評価結果	9	
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 21年度で終了 <input type="checkbox"/> 22年度から開始		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 H13 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ 年度)					

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	平成13年度より開始した。県から委嘱された地球温暖化防止推進員と共に取り組んでいる。体験を通して地球温暖化防止に取り組むために自分たちでできることを行動してもらおう。環境は年々変化している。
【業務の流れ】	エコライフ(エコクッキング、エコショッピング等)体験教室の開催
【主な予算費目】	報酬、旅費、需用費
【意見や要望】 関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	参加者からエコライフは役に立っているとの声がある。

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	
① 手段(主な活動) 21年度実績(21年度に行った主な活動)(DO)	22年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
エコライフ(エコクッキング、エコショッピング等)体験教室の開催 体験教室実施回数 31回 参加人数(延べ) 1,046人 環境学習会の実施 省エネルギーに関する広報	21年度に同じ
④活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標 (単位)	イ 参加者数 (単位)
⇒ ア 開催回数 回	イ 参加者数 人
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	⑤対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位)
市民	⇒ ア 人口 人
	⇒ イ
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	⑥成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位)
地球温暖化防止対策としてどのようなことができるかを体験してもらおう	⇒ ア 参加者数/人口 %
	⇒ イ
*⑥成果指標設定の理由と平成22年度目標値設定の根拠 意図が地球温暖化防止対策としてどのようなことができるかを体験してもらおうことから、成果指標を「参加者数/人口」とし、近年の実績を考慮し「2%」と設定した。	

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	19年度 実績(決算)	20年度 実績(決算)	21年度 目標(当初予算)	21年度 実績(決算)	22年度 目標(当初予算)	23年度 予定	24年度 見込
④ 活動指標	ア	回	30	31	30	39	30	30	30
	イ	人	800	1046	1100	1414	1100	1100	1100
⑤ 対象指標	ア	人	54047	54407	54800	54856	55300	55750	56210
	イ								
⑥ 成果指標	ア	%	1.5	2	2	2.5	2	2	2
	イ								
投資 入 量	事業 内 訳	国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		繰入金	千円						
		一般財源	千円	21	14	141	113	101	101
	(A) 事業費計	千円	21	14	141	113	101	101	101
	(A)のうち指定経費	千円							
	(A)のうち時間外、特勤	千円							
人 件 費	正規職員従事人数	人	8	7	7	1	4	4	4
	延べ業務時間	時間	72	92	112	30	90	90	90
	(B)人件費計	千円	286	368	446	119	358	358	358
トータルコスト(A)+(B)		千円	307	382	587	232	459	459	459

総トータルコスト 全体計画 ~ 年度
(期間限定複数年度のみ記載)
0
0
0

合志市

事務事業名	省エネルギー促進事業	所属部	市民部	所属課	環境衛生課
-------	------------	-----	-----	-----	-------

## 2 評価の部 (SEE)

\*原則は21年度の事後評価、ただし複数年度事業は21年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①21年度目標達成度評価 事務事業の前年度実績は前年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した	<input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】 ↷
	②22年度目標達成見込み 事務事業の本年度目標値に対して本年度の見込みはついているか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】 ↷
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 ↷
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 ↷
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 ↷
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事務事業のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行出来ないか？	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 ↷

## 3 評価結果の総括(SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

21年度は、体験教室 回実施、参加人数(延べ) 人で環境学習会の実施を行った。  
省エネルギーに関する広報を行った。

## 4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可

- 廃止     休止     目的再設定     事業統廃合・連携     事業のやり方改善(有効性改善)  
 事業のやり方改善(効率性改善)     事業のやり方改善(公平性改善)  
 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)

研修会等がある場合は、参加募集を市民に呼びかける。  
材料若しくは参加費を徴収するようにする。

(2) 改革・改善による期待成果  
(廃止・休止の場合は記入不要)

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上			
	維持	○		
	低下			

(3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策  
参加費を払ってまで参加する方がいるかどうか。